

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号：8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2010年4月26日

一般信用の売建可能銘柄を非貸借銘柄含む82銘柄追加し523銘柄に拡大
 ～ 主要ネット証券最多。信用評価損率(売残)の対三市場合計格差が好調に ～

カブドットコム証券株式会社は、2010年4月28日(水)から[長期信用取引\(一般信用取引\)](#)の売建可能銘柄に、制度信用で新規売建が出来ない非貸借銘柄(ディー・エヌ・エー、ポイント、日本マクドナルドホールディングス、堀場製作所、ナカニシ、第一生命保険等)を含め新たに82銘柄追加し、523銘柄にいたします。主要ネット証券最多の売建可能銘柄数です。

これは、お客さまから、信用評価損益率(売残)の対三市場合計格差が好調なことを背景に、より一層の売建可能銘柄拡充のご要望をいただき、対応するものです。

また、信用取引の賢い活用法をテーマとしたリアルタイムオンラインセミナーを開催予定です。併せて、「[arrowheadで信用取引も好成績！キャンペーン](#)」も実施中です。

[長期信用取引売建可能銘柄一覧](#) (CSV形式)

【非貸借銘柄：制度信用で新規売建が出来ない主な銘柄】(14銘柄 銘柄コード順 太字は今回追加銘柄)

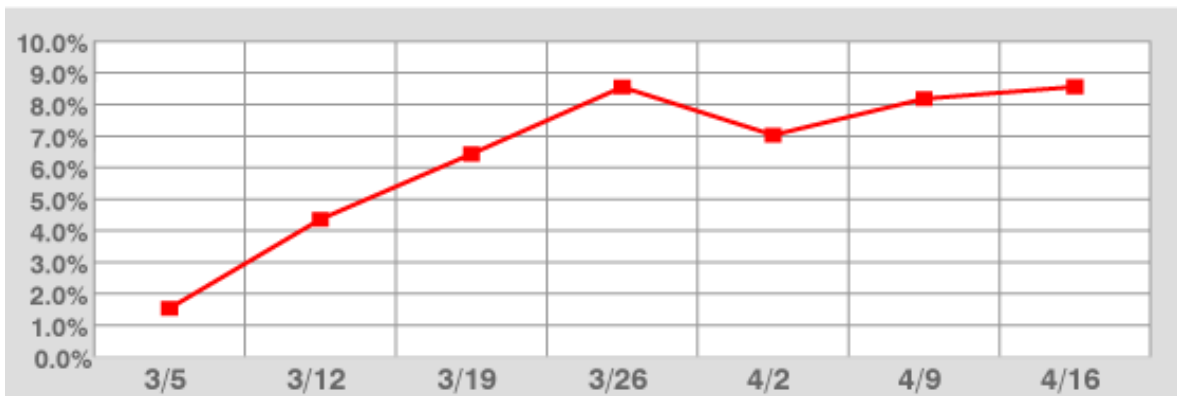
ディー・エヌ・エー(東証：2432)、ポイント(東証：2685)、日本マクドナルドホールディングス(JASDAQ：2702)、日本コークス工業(東証：3315)、オービック(東証：4684)、伊藤忠テクノソリューションズ(東証：4739)、エルピーダメモリ(東証：6665)、堀場製作所(東証：6856)、ナカニシ(JASDAQ：7716)、第一生命保険(東証：8750)、レオパレス21(東証：8848)、イオンモール(東証：8905)、エヌ・ティ・ティ都市開発(東証：8933)、電源開発(東証：9513)

【主要ネット証券一般信用新規売建取扱状況】

一般信用	カブドットコム	松井	SBI	楽天	マネックス
売建可能銘柄数	523銘柄	413銘柄	×	×	×

※2010年4月26日時点の各社ホームページを参照し当社作成、当社は、4月28日予定。

<信用評価損益率(売残)の対三市場合計格差の推移 ※2010/03/05～2010/04/16>
 2010年4月16日(金)現在 +8.56%



※1 三市場、当社ともに信用評価損益率は以下の数式にて算出

信用評価損益率 = 評価損益 ÷ 信用建玉残高 (売建のみ)

※2 東京証券取引所公表数値より当社計算。上記データは一般信用分を含んだデータです。

● 信用取引活用法オンラインセミナー開催

ラジオNIKKEIの情報番組「こちカブ」でおなじみの臼田琢美、藤本誠之が語る賢い信用取引活用法セミナーを、PCでご覧いただけるオンラインセミナーで開催します。参加は無料 (詳細は決まり次第、当社WEBにて、ご案内いたします。)

● 「arrowheadで信用取引も好成績！キャンペーン」を実施

「arrowheadで信用取引も好成績！キャンペーン」概要

期間	2010年4月1日 (木) ~ 2010年6月30日 (水)
内容	<p>【信用取引口座開設で】 信用取引口座開設で、先着3,000名様に、「ネット時代を勝ち抜く 信用取引の奥義／新井邦宏著」をプレゼント ※信用取引口座開設日の翌月上旬に登録住所へ送付いたします。</p> <p>【信用取引のお取引で】 (1) 期間中、信用取引で新規建て取引を行ったお客さまの中から抽選で30名様 (毎月10名様) に、5,000円プレゼント (2) 期間中、信用取引口座を開設し、初めて新規建て取引を行ったお客さまの中から抽選で90名様 (毎月30名様) に、最新公式本『「株」の自動売買でラクラク儲かる新方法』をプレゼント</p>



※当キャンペーンに当選された方は、当社の実施する他のキャンペーンに参加出来ない場合がございます。

● カブドットコム証券の長期信用取引 (一般信用取引) とは

カブドットコム証券の一般信用取引は、返済期限が最長3年の「長期信用取引」です。この「長期信用取引」は他社で「無期限信用取引」と呼ばれるものとほぼ同等であり、当社では信用取引の特性を踏まえて返済期限を最長3年としています。

● 長期信用取引（一般信用取引）の売建可能銘柄はネット証券屈指の銘柄数

カブドットコム証券では、制度信用銘柄も含めて一部の銘柄を除きほとんどの上場銘柄が買建可能で、売建も行えます。一般信用取引において売建も行える主要ネット証券は、当社以外では松井証券のみです。長期信用取引（一般信用取引）における売建は、「返済期限が最長3年」であり、また「逆日歩が付かない」というメリットもあることから、制度信用取引と比べてじっくりと売建が行えるメリットがあります。また、523銘柄の中には貸借銘柄ではない銘柄（売建できない銘柄）もありますので、それらの銘柄は制度信用取引では売建できませんが長期信用取引（一般信用取引）なら売建できることとなります。

● arrowhead(アローヘッド)完全対応により信用取引の注文もスピードアップ、発注所要時間を開示

当社は、2010年1月4日の東証新システム（アローヘッド）の稼働開始に合わせて、東証同様に最新のIT基盤を利用した株式売買システムへの刷新を実施いたしました。アローヘッドは注文・約定処理の高速化といった投資者のニーズや注文の小口化、取引件数の急激な増加に対応するため、新たに開発された売買システムです。これにより、当社では現物株式取引のみならず、信用取引についても、注文取次ぎ処理における処理時間などの高速化を実現しております。さらに、お客さまにも、その速度を実感していただくため、信用取引の新規注文・返済注文については、注文受付画面および注文約定照会画面に板乗り速度(当社のサーバで注文を受けてから取引所に送信するまでの所要時間)を掲載いたしております。加えて、月次のシステムレポートに、その状況を開示しております。



● 買付可能額・建玉可能額のキャッシュ化によりさらに板乗り高速化※

2010年2月10日から、買付可能額・建玉可能額のキャッシュ化対応の実施により、さらに板乗り速度が平均100～200ミリ秒程度向上いたしました。今後もシステムレポートにおきまして、注文取次ぎ処理速度（板乗り速度）を継続的に公開して参ります。

※買付可能額・建玉可能額のキャッシュ化とは買付可能額、建玉可能額を初回のデータベース時に高速なメモリデータベース上に保存しておき、次回、これらの可能額を取得する際はキャッシュよりデータを取得するため、これまで都度計算・データベースアクセスしていた処理がなくなり、高速化されるという仕組みです。

● 信用取引はWEB上で、最短で即日、口座開設からお取引開始まで可能です

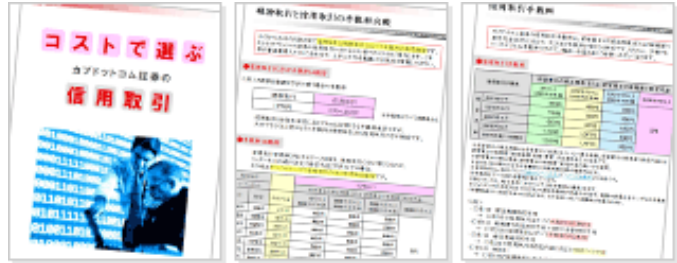
信用取引の口座設定約諾書の電子化により、当社に証券取引口座をお持ちであれば、WEB審査によって最短即日で信用取引や先物・オプション取引の口座開設、取引開始が可能となります。審査は原則24時間365日受け付けております。また、信用取引口座開設時に必要であった4,000円の印紙税も電子化により不要です。

【（例）信用取引口座開設の流れイメージ】



● 「コストで選ぶカブドットコム証券の信用取引」

信用取引のコスト面でのメリットをご理解いただくために「コストで選ぶカブドットコム証券の信用取引」というガイドブックを当社ホームページにてご案内しております。約定代金毎の信用取引と現物取引の手数料比較や金利



も考慮したコスト比較のシミュレーション、そしてレバレッジをかけない信用取引の活用、さらには上手に品受を利用し手数料コストを賢く抑える方法まで、意外と知られていない信用取引を利用したコストの節約方法をご案内しております。

わたしたちはMUFGです。 